

第2学年 社会科・総合的な学習の時間 学習指導案

豊島区立巣鴨北中学校
主任教諭 輪湖 みちよ

1 単元名 地域ミッション「巣鴨人（すがもん）プロジェクト」

2 単元の目標

- ・巣鴨地域における環境保全や防災・減災、伝統行事や文化の保存、人口に関する問題、産業の活性化、交通網や他地域との結び付き、資源・エネルギーに関する課題等の実態や課題解決のための取組を理解し、さらなる課題の解決に向けて考察、構想したことを、地域住民や地域を訪れる観光客に伝えるようにイベント企画や立体作品にまとめることができる。（知識・技能）
- ・巣鴨地域に昔から住み、地域活動を行う住民へのインタビューや、フィールドワークを通して地域の課題を見だし、日本の諸地域で人々が行っていた工夫や努力を参考にしながら、解決策を構想し、地域住民と共に取り組むイベントの企画や地域を活性化するアート作品の制作等の活動を通して、地域住民や地域を訪れる観光客に伝えることができる。（思考・判断・表現）
- ・巣鴨地域に住む住民として、地域をよりよくするという目的意識をもち、意欲的に地域住民と協働しながら、イベントの企画や制作に取り組むことができる。（主体的に学習に取り組む態度）

3 単元について

（1）教材観

本単元では本校の校区であり、生徒が生活する身近な地域「巣鴨」を教材とする。まずは一学期に班でテーマを決めて調査活動を行い、地域の特色をおおまかにとらえる。班ごとに地域の特色をまとめたスライドは、三学期に行う地域の在り方単元の教材として活用する。その間に行う、日本の地域的特色・諸地域学習においては、各地域の人々の工夫と努力を生徒がまとめ「日本ってどんな国?」「〇〇地方ってどんな地域?」といった地域の特色をとらえる問いと「豊かさって何だろう?」と、地域の在り方につながる問いとくり返し向き合う。この記録を基に、地域の在り方単元の導入で、自分が大切にしたい豊かさを地域で実現するとしたら、どのようになるかを「目指す巣鴨の姿」として表現する。このように、生徒自身が身近な地域を調査したり、日本の諸地域を学習したりしたまとめを活用することで、地域調査学習や日本の諸地域学習と関連付けながら、見通しをもって主体的に学ぶことにつなげていく。また、地域住民へのインタビューや地域のフィールドワークを通して、より具体的に地域の実態を把握したり、未来像を予測したりすることに活かす。さらに、コミュニケーションを大切にしながら協働することで、地域の一員としての自覚が高まり、地域をよりよくする活動に取り組む中で「持続可能な社会の担い手」としての基礎力が身に付くことを期待している。

（2）生徒観

生徒たちは社会科の授業で地域調査を行い、地域の特色を「江戸からつながる伝統文化があること」「商店街には様々なお店があり、発達していること」「高齢者向けの店や施設が多くあること」「産業や交通網が発達しているが、緑地が少ないこと」ととらえた。その後、日本の特色や日本の諸地域の特色を学ぶ中で、どの地域においても「自然環境に応じた工夫や努力を行い、自分たちの生活や産業をよりよいものにしてきた」人々の営みがあることに気付く生徒が多かった。これまでの学習を踏まえ、インタビューや野外調査を行い、地域住民と対話しながら各自が「目指す巣鴨の姿」を考え、それに向けた提案ができるようにしていく。

総合においては、1学年の終わりから「自分らしさ」って何だろう? 「はたらく」ってどんなこと? という問いに向き合い、自分自身の特徴や価値観、理想の働き方等について考え、対話や職場体験、企業ミッションといった体験活動を通して考えを深めてきた。特に、総合の前単元では11月の都内巡りに合わせて、企業から事前に提示された課題（＝ミッション）に対する提案を考え、都内巡り当日に企業訪問をしてプレゼンテーションを行い「世界から飢餓と貧困をなくすにはどうしたらよいか」「衣類の7割が廃棄される現状を解決するために、サステイナブルフ

アクションについて中学生に広めるにはどうしたよいか」といった、地球規模の課題に向き合い、解決策を考えてきた。

本単元では、生徒自身が暮らす身近な地域について、自ら見いだした地域の課題に対し、「自分らしく」向き合い、よりよい地域に向けて地域住民とともにインタビューやフィールドワーク、イベント企画や立体作品の制作など具体的な行動を通して、地域のために「はたらく」ことにより、自身のキャリアを考えたり、よりよい社会をつくることに進んで参加したりすることを期待している。(Think globally, Act locally.)

(3) 指導観

本単元の指導にあたっては、まず生徒自身が調査活動を通して身近な地域の特色をとらえ、課題を見いだすことを大切にする。そのために、1学期の地域調査では、自分自身が不思議に思う地域の様子から問いを立て、調査活動とまとめを行った。続く日本の諸地域学習では、各地域を見る視点ごとに「豊かさ」とは何か？を考えたり、各地域の人々が地域の持続可能性を高めるための工夫や努力を、各地域の人々による「豊かさの追求」事例として学んだりしてきた。そこから、巣鴨地域をよりよくするためのアイデアを考えることも繰り返し行ってきた。「豊かさ」について、多面的・総合的に考えることで、誰もが「豊かさ」を感じるよりよい地域を目指す方策も多面的・総合的に考えることができる。

その後、生徒の興味・関心に応じて地域住民へのインタビューと、フィールドワークを行う。例えば、環境保全に興味をもった生徒は田植えやホテル見物、果樹の収穫ができる「朝日ほのぼのランド」を運営する地元町会の方にインタビューし、ほのぼのランドを訪れる。また、防災・減災対策に興味をもった生徒は住民参加型の防災イベントを企画・実行する地元町会の方にインタビューし、その実態を知る。さらに、伝統行事に興味をもった生徒は猿田彦大神や高岩寺の縁日、大塚天祖神社の祭礼について地元町会や寺社関係者にインタビューをし、寺社を訪れる。その他にも、人口問題、産業の活性化、交通網や他地域との結び付き、資源・エネルギーに関する課題等、地域住民を中心としたゲストティーチャーと共に学び、協働することにつなげていきたい。

(4) ESD との関連

・ESD の視点

①多様性・相互性

人や地域社会の特徴、魅力や課題はいろいろある。人や地域が結びつくことにより、互いに影響しあっている。

②公平性・連携性

誰もが豊かさを感じる地域に向けて、世代や立場を超えて協力する。

③責任性

よりよい地域を目指した行動は、自分にもできる

・ESD で育てたい資質・能力

①コミュニケーションを行う力

自分の意見を伝え、多様な他者の意見を聞くことができる。

②多面的・総合的に考える力

多様な特徴をもつ地域とのつながりを考えたり、比べたりしながら、身近な地域の特徴を考え、よりよい地域を目指す方策を考えることができる。

③問題発見力・協働的問題解決力

インタビューやフィールドワークから、身近な地域の課題を発見し、地域の方々と協働しながら解決策を考え、実行できる。

・ESD で育てたい価値観

①世代間の公正・世代内の公正②人権の尊重

私たちが地域の方々と協働し、地域の豊かさを追求することは、これまで地域のために取り組んできた人や、今やこれから地域で活躍する人たち全てのためになる。

・関連する SDGs

①4.7

②11.4、11.5、11.6、11.7、11.a、11.b

4 単元の評価規準

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
<p>①地域における多様な課題の実態や課題解決のための取組を理解している。</p> <p>②課題の解決に向けて考察、構想したことを、地域住民や地域を訪れる観光客に伝えるようにイベント企画や立体作品にまとめている。</p>	<p>①地域住民へのインタビューや、フィールドワークを通して地域の課題を見いだしている。</p> <p>②日本の諸地域で見られた人々の工夫や努力を参考に、解決策を構想している。</p> <p>③地域住民と共に取り組むイベントの企画や地域を活性化するアート作品の制作等の活動を通して、地域住民や地域を訪れる観光客に伝えている。</p>	<p>①巣鴨地域に住む住民として、地域をよりよくするという目的意識をもち、意欲的に取り組んでいる。</p> <p>②地域住民と協働しながら、イベントの企画や作品の制作に取り組んでいる。</p>

5 単元の指導計画（14時間／社会科7時間・総合7時間）

次	主な学習活動	学習への支援	評価
ガイダンス	<p>身近な地域の調査学習・日本の諸地域学習を振り返り、地域のあり方学習の見通しをもつ（1時間）</p>	<ul style="list-style-type: none"> 生徒によるまとめの活用 諸地域における人々の工夫や努力を思い出す 先行事例の紹介 単元構想図による見通しと自己評価シート 	ウー①：ワークシート、対話
課題設定・情報収集	<p>多面的・総合的に地域の特色をとらえた上で、課題を見だし、課題意識によって、地域住民へインタビューを行い、フィールドワークを実施する（2～5時間）</p> <ul style="list-style-type: none"> 興味や関心に基づき、地域住民へのインタビューやフィールドワークを計画する インタビューやフィールドワークで得た内容をまとめる 	<ul style="list-style-type: none"> 地域住民との協働（インタビュー、フィールドワーク） <ul style="list-style-type: none"> ①環境保全：朝日町会 ②防災・減災：朝日町会中村さん ③伝統行事や文化の保存：猿田彦大神、高岩寺、天祖神社 ④人口に関する問題：学校運営協議会委員・民生委員、大正大学 ⑤産業の活性化：巣鴨地藏通り商店街、大正大学 ⑥交通網や他地域との結び付き：東京都交通局、JT、くじら祭り ⑦資源・エネルギー：巣鴨地藏通り商店街、大正大学 大学生ファシリテーター <ul style="list-style-type: none"> ①インタビューやフィールドワークの補助 ②課題設定、情報収集の支援 	<p>アー①：ワークシート、対話</p> <p>イー①：ワークシート、対話</p>

3 情報 分析 ・ ま と め	<p>課題の解決に向けて考察・構想したことを各自でまとめ、学級内で発表し合う（6～7時間）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・よりよい巣鴨地域に向けたアイデアを考え、発表し合う ・自己評価・相互評価を行い、これまでの取組を振り返る 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民からのコメント インタビューやフィールドワークでお世話になった方々からコメントをもらうことで、自身の取組を振り返り、改善点を見つける ・大学生ファシリテーター 発表支援（対話支援） コメントによる生徒の活動評価 	<p>アー①：ワークシート、発表</p> <p>イー②：発表</p>
4 発 表	<p>各自の構想を基に、学年全体を6グループに分け、イベント企画・立体作品の制作などを行い、構想を具体化・行動化する（7時間）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員も興味・関心や教科との関連によって、6グループに分かれて生徒の支援を行う ・イベント企画や立体作品は3階フロアに展示をし、3月7日（土）の土曜公開授業、れんが祭「展示の部」で保護者や地域住民に発表する 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民との協働（インタビュー、フィールドワーク） ・大学生ファシリテーター ・立体作品の制作支援（美術科・社会科） ・マンガやアニメ等の地域資源の活用（専門家） ・イベントや立体作品の制作にかかる費用の助成（心豊かな社会財団） 	<p>アー②：イベント企画、作品制作</p> <p>イー③：イベント企画、作品制作</p> <p>ウー②：イベント企画、作品制作</p>

学習指導要領	2学年社会科「地域調査」「地域の在り方」で身に付けたい力や態度等	2学年総合「自分探しの旅」で身に付けたい力や態度等	ESDの視点	ESDで育てたい資質・能力	ESDで育てたい価値観	具体的な活動（教科／総合）	
社会や生活の中で生きて働く知識・技能	<p>①野外調査や文献調査を通して、栗鴨地域における環境保全や防災・減災、伝統行事や文化の保存、人口に関する問題、産業の活性化、交通網、資源・エネルギーに関する課題等の実態や課題解決のための取組を理解する</p> <p>②よりよい地域に向けて考察、構想したことを地域住民に伝えるようにまとめる</p>	<p>①自分の意見を伝える・他者の意見を聞く・多様な意見をまとめる等の対話の技能を身に付ける</p> <p>②他者との対話や体験活動を通して、<u>自分の個性や価値観などの「自分らしさ」を理解する</u></p> <p>③地域や社会の課題とその背景を理解し、解決に向けて必要な技能を身に付ける</p>	多様性 責任性	<u>コミュニケーション</u> を行う力	<u>自他の人権を尊重する</u>	<p>【知識の深化】</p> <p>①身近な地域の調査、①日本の諸地域、②身近な地域の在り方（社会）</p> <p>【技能の活用】</p> <p>バズセッション、ワールドカフェ（国語）</p> <p>ペア学習・グループ学習（英語・体育・社会）</p>	<p>①②本当に行きたい職場体験先決め対話</p> <p>①②「自分らしさ」って何だろう？対話</p> <p>①②③企業ミッション</p> <p>①②③地域ミッション</p>
未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力	<p>①野外調査や文献調査を通して、地域の魅力や課題を見いだす</p> <p>②日本の諸地域で人々が行ってた工夫や努力を参考にしながら、よりよい栗鴨地域について考える</p> <p>③自分の考えを地域住民との対話や野外調査によって深め、よりよい栗鴨地域に向けた取組を構想し、表現する</p>	<p>①職場体験を通して考えたはたらくことの意義を対話やマンガビブリアによって、<u>他者にわかりやすく伝える</u></p> <p>②企業からの課題に対し、<u>グループで協力</u>しながら必要な情報を収集・分析・活用して<u>提案をまとめ、プレゼンテーションを行う</u></p> <p>③インタビューや野外調査を通して<u>地域の課題を発見し、グループで協力</u>しながら情報を収集・分析・活用して提案をまとめ、<u>イベント企画の構想や立体作品などによって表現する</u></p>	公平性 相互性	<p><u>多面的・総合的に考える力</u></p> <p><u>未来像を予測して計画を立てる力</u></p>	世代間の公正・世代内の公正	<p>【知識の深化】</p> <p>①身近な地域の調査、②日本の諸地域、③身近な地域の在り方（社会）</p> <p>【技能の活用】</p> <p>自画像、マンガビブリア（美術）</p> <p>お礼状、プレゼンテーション（国語）</p> <p>【価値観の醸成】</p> <p>郷土愛・伝統を大切にする態度（道徳）</p>	<p>①職場体験</p> <p>①職場体験振り返り対話</p> <p>②企業ミッション</p> <p>③地域ミッション</p>
学んだことを人生や社会に生かす学びに向かう力・人間性等	栗鴨地域に住む住民として、地域をよりよくするという目的意識をもち、意欲的に地域住民と対話し、協働する	<p>①体験活動や対話に<u>自分の個性や価値観などの「自分らしさ」</u>を発揮しながら意欲的に取り組み、<u>上手いいかなくても挑戦</u>し続ける</p> <p>②対話相手やグループ、地域や社会の人々との<u>人間関係</u>を大切にし、自分や社会をよりよくするために取り組むことができる</p>	責任性 連携性	<p><u>進んで参加する態度</u></p> <p><u>他者と協力する態度</u></p> <p>つながりを尊重する態度</p>	<p><u>自他の人権を尊重する</u></p> <p>世代内の公正・世代間の公正</p>	<p>【価値観の醸成】自己理解・相互理解／寛容・社会参画（道徳）</p> <p>【行動の変容】</p> <p>展示発表会（行事）</p> <p>イベント実施（特活）</p>	<p>①②職場体験</p> <p>①②職場体験振り返り対話</p> <p>①②企業ミッション</p> <p>①②地域ミッション</p>



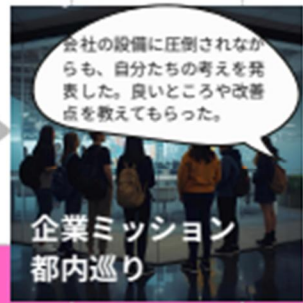



2 学年総合的な学習の時間 「自分探しの旅に出かけよう！」

4 質の高い教育を
みんなに



11 住み続けられる
まちづくりを



時期	3月	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
目指す生徒 の姿	自分の個性や価値観などの「自分らしさ」を發揮し、他者とコミュニケーションをとりながら、地域や社会の課題とその背景を理解したり、解決策を考えたりすることができる。また、情報を収集・分析・活用して提案をまとめ、わかりやすく表現することができる。活動の中で上手くいかないことがあっても、人間関係を大切にし、意欲的に挑戦し続け、自分や社会をよりよくするために取り組むことができる。そして、「自分らしさ」を活かして人や社会と関わることが、自分自身の成長やよりよい社会の実現につながることを理解する。											
体験活動	LOTTE×アントレプレナー教育  職業講話  職場体験  企業ミッション 都内巡り  地域ミッション 巣鴨人プロジェクト											
教科等	【知識の深化】身近な地域の調査（社会） 【知識の深化】日本の地域的特色、日本の諸地域（社会） 【知識の深化】身近な地域のあり方（社会） 【技能の活用】白画像、マンガビブリオ（美術） お礼状、プレゼンテーション（国語） 【技能の活用】バスセッション、ワールドカフェ（国語）ペア学習・グループ学習（英語・体育・社会） 【価値観の醸成】自己理解・相互理解／寛容・社会参画・郷土愛・伝統を大切にする態度（道徳）											
総合	自分探しの旅①ガイダンス 「自分らしさ」って何だろう？対話 理想の働き方調べ  本当に行きたい 職場体験先決め対話 自分らしさを真剣に聞いてもらえて、自信ができた！ 職業講話 「はたらく」ってどんなこと？対話 職場体験ガイダンス マナー講座 「自分らしさ」って何だろう？「はたらく」ってどんなこと？対話 職場体験振り返り対話 まとめ（マンガビブリオ） 都内巡りガイダンス 自分探しの旅②ガイダンス 企業ミッション情報収集・分析・活用、まとめ、プレゼンテーション（都内巡り） 自己PRカード 地域の未来予想図  身近な地域の在り方 巣鴨人プロジェクト 地域ミッション情報収集・分析・活用、まとめ、立体作品制作・イベント企画等 振り返り対話 自己PRカード 【行動の変容】展示発表会（行事） イベント実施（特活） 理想の進路調べ											
連携先	株式会社LOTTE（アントレプレナー教育） NPOおやじ日本 アマゾンジャパン、日本IBM、読売新聞、ヤマト運輸、JR東日本、東レ、小学館集英社、はとバス、久保木書店、若松屋、荷渡宇宙船運システム、ルミネ、ゼンショー（企業ミッション・企業訪問13社） 飲食店、行政機関、金融機関、医療機関等の生徒が希望したものの事業所 保護者1名（マナー講座） NPOおやじ日本 アマゾンジャパン、日本IBM、読売新聞、ヤマト運輸、JR東日本、東レ、小学館集英社、はとバス、久保木書店、若松屋、荷渡宇宙船運システム、ルミネ、ゼンショー（企業ミッション・企業訪問13社） 保護者など地域住民4-6名（インタビュー・野外調査・対話）、大学生4-6名（ファシリテーター）、心豊かな社会をつくるための子ども教育財団（探究助成） 保護者、地域住民等											